

令和元年度 六郷小学校学校評価(後期) 結果・成果・課題・改善方法及び学校関係者の意見

評価目標指数(A+B=80%以上) ○:80%以上 ▲:80%未満

A:とてもそう思う B:だいたいそう思う C:あまり思わない D:思わない

項目	主な具体策	評価の観点	保護者				児童				教職員				成果(○)と課題(▲)・改善方法(☆)	学校関係者評価委員会から (課題事項について)
			前期		後期		前期		後期		前期		後期			
			A+B	評価	A+B	評価	A+B	評価	A+B	評価	A+B	評価	A+B	評価		
1【知】 確かな学力の育成 主体的・対話的に学習し深く学ぶ子の育成に努めます	○基礎基本の確実な定着 ○自ら学び自ら考える力の育成 【数値目標】 (1) 学年×10分+10分の家庭学習に取り組む児童の割合 80% (2) 漢字力・計算力テスト合格点(80点)取得者 80% (3) 県学力診断のためのテストで前年比の合計 +5点	漢字力・計算力テスト合格点(80点)取得者は80%以上となるように指導している。	97.0%	○	98.0%	○	90.1%	○	96.0%	○	70.0%	▲	62.5%	▲	○定期的な漢字力・計算力テストの実施は、児童及び保護者により基礎基本の定着の効果が評価された。2学期までの漢字力達成率88.5%(昨年度末85.1%:3.4ポイント向上)、計算力86.9%(昨年度末81.2%:5.7ポイント向上) ○主体的な学びを引き出す授業づくりでは、専門家を招聘した校内研究授業等の継続的な実施により、教職員の評価が大きく向上した。 ▲家庭学習では、児童の高評価に対して、約3割の保護者は満足していないと評価している。 ☆家庭学習を主体的な学びにするために、次年度より宿題の量を減らした上で、児童が自分自身でドリルの量や学習内容を選んで取り組めるようにする。各自に合った学び方で家庭学習ができるように、「家庭学習の手引き」を保護者懇談会等で紹介する。インターネットによる家庭学習サービス「eライブラリ」の積極的な利用を推奨する。	・基礎基本の達成率は大変良いにもかかわらず、教職員の評価が低い。主観的な評価ではなく、児童と保護者のアンケートを踏まえた学校全体の結果として客観的に捉えてはどうか。 ・家庭学習の時間(学年×10分+10分)については、保護者が我が子の学習時間を把握することは家庭によっては難しいのだろう。家庭学習の幅を広げて、ドリルやプリント以外にも、読書(取手市推奨の「うちどく」)やインターネットによる家庭学習サービス「eライブラリ」・自主学習ノートによる子ども自身の主体的な学びの推進に期待したい。
			78.8%	▲	74.7%	▲	89.1%	○	92.1%	○	70.0%	▲	88.9%	○		
			71.7%	▲	66.7%	▲	91.1%	○	90.1%	○	80.0%	○	66.7%	▲		
2【徳】 豊かな心の育成 友達と協働し、心豊かに生活する子の育成に努めます	○基本的な生活習慣の徹底 ○一人一人のよさを発揮できる特色ある教育活動の充実 【数値目標】 (1) 学校が好きな児童 90% (2) 体験活動・交流活動の満足度 90% (3) 「みんなにすすめたい一冊の本」県教育長賞受賞者 90%	気持ちのよい元気なあいさつ・大きな返事の指導と共に率先垂範している。	85.9%	○	83.8%	○	95.1%	○	97.0%	○	100.0%	○	100.0%	○	○あいさつ・返事では、計画集会委員会の児童・自主参加の学年の児童・中学生との合同によるあいさつ運動や教職員の率先垂範の姿勢、地域の方々と交流が高評価につながった。 ○生徒指導は、全教職員による気になる児童のスクリーニング会議(毎週)・いじめ防止アンケート(毎月)・いじめチェックリスト(毎週)・専門スタッフとの教育相談体制等によるチームでの対応は効果があった。 学校が好きな児童97.5%(前後期の平均) ○体験・交流活動は、六郷っ子フェスティバルにおいて茨城国体でラジオ体操に参加した4年生・自転車競技観戦をした6年生による体験発表、質の高い学年発表が好評であった。その他、専門家によるプログラミング学習・食育学習・文化芸術体験出前講座等に参加した児童は、どの活動も主体的な学習となり満足度が高かった。 ○ホメノプロジェクト「六郷小賞」授与者計延460名	・児童、保護者、教職員共に全項目が評価目標指数80%を超えており、十分な成果を上げている。授業の様子からも、児童が安心して生き生きと学校生活を送っているのが分かる。
			94.9%	○	92.9%	○	93.1%	○	94.0%	○	80.0%	○	90.0%	○		
			95.9%	○	96.0%	○	97.1%	○	97.0%	○	100.0%	○	90.0%	○		
3【体】 健やかな体の育成 明るく健康で、活力ある子の育成に努めます	○健康で安全な生活習慣の徹底 ○体力の向上と健康教育の推進 【数値目標】 (1) 危機回避の行動がとれる児童 90% (2) 体力テスト総合評価A+Bの割合 60%	歯磨きタイム等の健康な生活習慣・病気の予防等の健康教育の指導をしている。	86.8%	○	82.8%	○	95.0%	○	94.1%	○	100.0%	○	100.0%	○	○健康教育は、毎日の歯みがきタイム・学期毎の身体測定時の保健指導・養護と担任による保健学習が効果を上げている。併せて、今年度は経験者によるがん教育講演会を実施し、健康教育のさらなる充実を図ることができた。 ○安全教育は、登下校指導や避難訓練を通して自分で自分を守る危機管理意識を高めることができた。一方で休日の自転車の乗り方・下校時の歩き方が危険な場面もあったので、その都度具体的に指導した。 ▲☆体力の向上は、児童・教職員の高評価に対して保護者の評価が低かった。運動会・持久走大会・なわとび大会等とともに、授業参観時に体育学習を積極的に公開するなどして、楽しく体力の向上に努めていることを知っていただくようにする。 ☆低中高学年ブロックでの合同体育・専門家による特別授業(水泳学習等)を実施する。	・保護者の体力向上についての評価が低いのは、家庭での子どもの様子(通信機器でゲームをする等)を見ていないからだろう。スポーツをする子としない子が二極化しているからこそ、学校での全児童に対する体力向上の取組の意義は大きい。今後も体育の授業を公開するなどして、保護者が我が子の様子を見ることが出来る機会を増やしてほしい。
			81.9%	○	72.7%	▲	90.1%	○	93.1%	○	100.0%	○	100.0%	○		
			89.9%	○	83.8%	○	100.0%	○	99%	○	100.0%	○	100.0%	○		
4 信頼と協働で結ばれた地域とともにある学校づくり	○各種より・学校HPによる学校情報の積極的発信 ○授業参観の地域への公開・公民館との合同運動会の実施 ○保護者・地域との連携による登下校の見守り・安全パトロール 【数値目標】 学校HPの授業日の更新率 90%	学校・保健だより等を発行(毎月1回)したり、学校ホームページに掲載(授業日の更新率90%)したりして、教育活動の情報を提供している。	93.9%	○	94.9%	○					70.0%	▲	60.0%	▲	○今年度は学年だよりを廃止し、学校だよりに全学年の行事及び下校時刻を明記し学年だよりを内包した。併せて学年毎に毎週の学習予定を配付した。学校ホームページで教育活動をタイムリーに掲載しており、アクセス数は毎月10000件を超えている。 ○保護者・地域ボランティアの方々による登下校の見守り・安全パトロールは、保護者・教員・地域の方々の連携や情報交換(地域安全連絡協議会2回実施)が成果につながった。 ○いじめの未然防止・早期対応は、いじめゼロ集会の実施や全校児童参加の人権カレンダー・いじめ防止標語づくりなどによる意識の向上や学校の組織での対応に取り組んだ。 ☆いじめ防止は、本校の目指す児童像(校訓)である「自分で考える子」の実態に即した指導・保護者と地域との協力を重点に具体策を推進する。 ▲学校ホームページ掲載回数の学年差が教職員の評価を下げている。全学年の教育活動の情報をできる限り公平に公開する。	・各種より及びホームページにて教育活動の様子はタイムリーに十分に掲載されており、保護者の満足度も高いにもかかわらず、教職員の評価が低い。ホームページの学年差を気にしている教員もいるようだが、これについても主観的な評価ではなく、客観的に学校全体を見て肯定的に捉えてほしい。
			96.9%	○	96.0%	○					90.0%	○	90.0%	○		
			89.9%	○	84.8%	○					90.0%	○	100.0%	○		

保護者回答率 98% 内訳:1年生(100%・16/16人) 2年生(100%・11/11人) 3年生(93%・14/15人) 4年生(100%・10/10人) 5年生(100%・26/26人) 6年生(96%・22/23人)